

—「高深度プロテオーム解析による悪性黒色腫血中腫瘍マーカーの探索と臨床応用」へご協力をお願い—

1. 研究課題名

「高深度プロテオーム解析による悪性黒色腫血中腫瘍マーカーの探索と臨床応用」

2. 研究の意義・目的

悪性黒色腫(メラノーマ)は、その悪性腫瘍の細胞 1 個 1 個の内部でメラニン産生という反応を起こしています。悪性黒色腫やほくろは黒い色をしていることが多いのですが、細胞の中でこの黒い色素であるメラニンを産生しているためです。

現在、医療現場では多くの微量なホルモン、ビタミン、タンパク質、ペプチド(タンパク質の短いもの)などの微量な物質の濃度が血液や尿で測定され、患者さんの病名診断や病気の重症度の把握に役立っています。現在、医療現場で用いられている臨床検査では、主に抗体試薬という製品を用いてこれらの微量な物質を測定しています。腫瘍の病気の勢いを反映したり、治療の効果を反映する腫瘍マーカーもこのような検査によって測定されています。しかし、悪性黒色腫に関してははまだ優れた腫瘍マーカーが存在しないというのが現状です。この研究では、血液の中に検出されるペプチドやタンパク質を同時に多数解析する、プロテオーム解析という技術によって、血清を分析します。これによって悪性黒色腫の病気の勢いを反映したり、治療効果を反映するペプチドやタンパク質の腫瘍マーカーを探し出すことを目的としています。

3. 研究の方法

2024年6月30日以前に、当院において悪性黒色腫の診断や治療を受けられた方のうち、血液のサンプルを提供くださった方を対象に、その血液サンプル(血清)を日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科とかずさ DNA 研究所応用プロテオミクスグループで分析します。このプロテオーム解析で検出された腫瘍マーカーとなる可能性のあるペプチドやタンパク質の血液サンプル中の濃度を、日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科において抗体試薬で測定し、腫瘍マーカーとしての有用性を検証します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、患者さんが治療を受けた医療施設や、そのデータを集めて解析する日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科の、鍵のかかる保管庫、またはパスワードで制御されたコンピュータで保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

お名前などの個人情報は通し番号に置き換えられます(匿名化といいます)。匿名化された番号を付し血清サンプルは凍結した状態でクール宅急便で輸送します。匿名化された血清サンプルは研究を統括する日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科に集められ、さらにプロテオーム解析機関のかずさ DNA 研究所応用プロテオミクスグループに送付され解析されます。対応表は岡山大学病院メラノーマセンターの研究責任者が保管・管理し、外部に送られることはありません。

6. 研究組織

統括研究施設および代表研究者

日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科 梅村啓史

共同研究施設および研究責任者

岡山大学病院メラノーマセンター 森実真

公益財団法人かずさ DNA 研究所応用プロテオミクスグループ 川島祐介

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の「本件のお問合せ先」までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：岡山大学病院メラノーマセンター

本件のお問合せ先：事務担当 田島・大島

086-235-7282

研究代表機関：日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科

研究代表者：梅村啓史